

東京都立多摩図書館の移転について

1 移転の経緯

- 平成22年 3月 「都立多摩図書館基本構想」整備の基本方針を決定
施設の経年による劣化、所蔵資料が収蔵庫の限界を超えている
状況、開架・閲覧スペースの不足
- 平成23年 1月 「都立多摩図書館の施設整備について」教育委員会報告・公表
(1) 平成28年3月開館予定
(2) 多摩図書館は西国分寺駅至近(国分寺市泉町)の都有地に移
転改築
(3) 同じ建物内にある多摩社会教育会館(ホール、研修室等の都
民利用施設)は廃止を検討し、機能の一部を移転後の多摩図書
館に引継ぐ。
- 平成23年11月 新多摩図書館工事基本設計・実施設計
～平成25年11月
- 平成26年 8月 新多摩図書館工事着工
移転先の建設地にあった旧建物の残存基礎の撤去等により、工事
計画・移転計画を再検討し、開館時期は平成29年1月を予定
- 平成28年 8月 移転準備作業を開始し、現多摩図書館は閲覧室で可能なサービスを
継続(～12月まで)
- 平成28年10月 新多摩図書館工事完了・引渡し、移転開始
- 平成29年 1月 新多摩図書館開館予定

2 多摩図書館の概要(雑誌、児童・青少年資料の専門図書館)

	現多摩図書館	新多摩図書館
所在地	立川市錦町(多摩教育センター)	国分寺市泉町
最寄り駅	JR南武線西国立駅徒歩10分	JR中央線・武蔵野線西国分寺駅徒歩7分
専有延床面積	4,351㎡	8,972㎡
閲覧席	158席	227席
収蔵容量	103万冊	285万冊
開架冊数	3万8千冊	10万1千冊

3 新多摩図書館のサービス展開(予定)

- ・都立図書館の役割：①広域的かつ総合的情報拠点として資料及び情報を収集・保存
②調査研究及び区市町村立図書館を支援
- ・区市町村立図書館：①地域の実情に応じて資料及び情報を収集
の役割 ②利用者への貸出しが中心

- (1) 「東京マガジンバンク」(公立図書館で最大規模の雑誌の専門サービス)の充実
直接閲覧できる雑誌を534誌から計6000誌の最新1年分に拡大し、調査研
究を行う利用者の環境を充実
- (2) 「児童・青少年資料サービス」の充実
児童書の最新1年分4500冊を直接閲覧できる選書コーナーを設置し、学校や
区市町村立図書館の選書を支援
- (3) 施設等の充実
○大規模な研修等を行うセミナールームの設置[200名(100名×2分割可)]
○打ち合わせをしながら資料を利用できるグループ閲覧室の設置(20名程度)
○カフェスペースの設置
○開館時間の延長(中央図書館に準じる)
- (4) オリンピック・パラリンピックをきっかけとした国際化の支援
○外国語雑誌最新1年分が直接閲覧可能(400誌、9カ国語)
○外国語の児童書を展示

◎多摩教育センター内の多摩社会教育会館の廃止

- 多摩社会教育会館(ホール、研修室等)は、多摩教育センターを管理する現多摩図書館
の移転時期に合わせて廃止する。
- 現多摩図書館が多摩社会教育会館で開催している研修や講演会は、新多摩図書館のセミ
ナールームで実施する。
- セミナールームは、多摩図書館の事業等で使用するほかに、都民への貸出を行う。

【スケジュール(予定)】

- 平成27年12月 廃止条例案の提出(ホールの予約開始が1年前のため)
- 平成28年 8月 多摩図書館移転準備作業に伴い貸出施設をホールのみ縮小
- 平成28年12月 多摩社会教育会館廃止

【多摩教育センター・移転後の多摩図書館案内図】

多摩教育センター（多摩図書館・多摩社会教育会館）
立川市錦町6-3-1



移転後の多摩図書館
国分寺市泉町二丁目102番11

